

# 明日にむかって

発行 社会福祉法人陽光会 編集「明日にむかって」編集委員会 発行日 2013年11月8日  
住所 〒173-0032 東京都板橋区大谷口上町23-1 ☎03-3956-1068(陽光保育園)

72号

あの震災から2年半、やっと東北の旅に行くことができました。義姉の運転で福島南相馬、宮城の石巻、三陸海岸沿いを走り、陸前高田、釜石、大槌、山田町と被災地をめぐる2泊3日の旅です。助手席からながめる景色は復興とは程遠い世界ばかりで、胸が苦しくなり、変わっていないことに、政治への怒りがわいてきました。また旅の途中で石巻と山田町の保育園を訪ね、当時の様子を聞かせてもらうことができました。目の前に居る子どもたちのために必死だったこと、次から次とやるべきことが湧いてきたことなど、短時間では語りつくせない内容でした。最終日には久慈市のお祭りをみて、災害を乗り越えようとする町の姿に感動して、東京まで約600キロ走り続けて帰ってきました。途中で食べた「まめぶ」美味しかったです。見続けなければならないと感じました。(T・R)

## 子どもたちの居場所をなくさないで!!

### ■板橋区の学童クラブが全部なくなる?! ■児童館は大幅統廃合?!

働く親にとって子どもを安心して預けられる学童クラブ、それを全部廃止するという信じられない話が板橋区で出ています。

### 学童クラブからあいキッズへ

2009年から民間委託の形で始まった「あいキッズ」は全児童対策事業(全小学生が自主的に参加する放課後活動)は、16年生が自由参加の一般登録と従来通りの学童クラブの、どちらかを選ぶことができました。陽光会は1961年、地域の保育園関係者と一緒に学童保育所づくりの先駆的役割を果たしました。板小小学校の学童クラブを受託して頑張ってきたのも、地域の働く子育て支援を貫くためでした。だから2年前、その学童クラブが「あいキッズ」に組み込まれてしまったときも、区に対して「苦渋の選択」を言明して受託を決心したほどの覚悟を伴うものでした。

遊び場としての一般登録と留守家庭の子ども居場所(第二の家庭)としての学童クラブは、本来まったく別の役割を担うものです。学童クラブがあいキッズに解消されてしまわないかという不安を拭ききれぬまま、学童クラブの変わりぬ輝きを大事にしながらい一般登録についても充実を目指して頑張ってきたつもりです。

あいキッズになると学童クラブの定員枠がなくなり、心配したとおり大人数・過密化を避けることはできず、50人規模から一気に70人規模にふくれあがりました。子どもたちは狭い部屋にすし詰め状態、指導員の労働環境も以前より劣悪化していることは否めません。



### 学童クラブがなくなる?!

その学童クラブと一般登録の区分けをなくして全部一緒に受け入れるというのです。いつ来てもいいように「レギュラータイム」が夕方5時まで、それ以降は「オプションタイム」として有料で預かる形に。児童福祉法で定められた学童保育制度が板橋区からなくなってしまうのです。



### 今年中に条例改正なんて...?!

8月の区議会(文教児童委員会)で突然の提案、12月には条例改正して来年度から11校で新制度を導入するといっています。利用料も委託費も未定のまま、来年度実施予定の委託法人公募を強行しました。なぜそんなに急ぐのでしょうか。

一体化を理由に委託費も大幅に減額されます(区が示した基準では板小は2人も減員になる)。子どもたちの生活面が広がるのだから、本来は人件費も運営費も増額しなければならぬはずなのに。板小では、今でさえ指導員が手不足のため、区の配置基準に正規1名・パート1名を上乗せしてやりくりしているというのに。学校の間借りでは居場所も不安定、一般登録は中止の可能性があります。「学童クラブの機

### 保護者からあがる不安の声



能「継続どころか遊び場の保障すら程遠いのが現実です。」  
議会提示を待つ学童クラブ父母会と相談できず、板小は民間受託後もしっかりかかっている数少ないクラブです。役員さんたちから「一刻も早く保護者に情報を」との要請を受け、父母会主催で臨時保護者会を開いたのが9月末。案の定、疑問や不安が続出し、緊急アンケートを取ることに決まりました。わずか4日間で35通も集まり、10月18日締め切りのパブリックコメントには、切実な保護者の声を父母会としてまとめて提出したそうです。陽光会も法人として、職員や保育園保護者の声を汲み上げながら12ページに及ぶ「要望及び質問書」を出しています。

### 児童館も削減?!

児童館が38館から一挙に10館以上に減らされる計画はご存知でしょうか。全小学校にあいキッズができることにより、小学生は児童館を利用できなくなるという話も。来年度から保育料の大幅値上げも決まりました。親が安心して働くことができ、子どもたちが何よりホッとでき、受け容れられ守られながら成長する「居場所」がどんどん奪われてゆくのですね。見過ごしてはいけません。私たちに何ができるのか、一緒に考えていきたいと思います。

白井吉郎

### 陽光保育園

#### ●一時保育のお友だちも運動会に

10月13日、陽光保育園の運動会が板小の校庭で開催されました。その運動会に一時保育(ひまわり組)のお友だちも遊びにきてくれ、1歳児クラスと一緒に親子競技に参加し、可愛い姿を見せてくれました。出番前、早くスタートしたくて前へ前へと体が動いてしまう様子が、なんとも微笑ましく感じられました。こんなふうに自然な姿で参加できたのは、普段から在園児と遊んだり、給食を食べたり、共に過ごす時間があったからだだと思います。気づくと一緒に遊び始めている子どもたち。すぐに仲よくなれる、不思議なパワーを持つ子どもたち、とっても素敵ですね。

### 板小あいキッズ

#### ●暑くても元気!

プールでの水遊び、スイカ割り、陽光保育園の砂場を借りての豪快な砂遊びなど、夏の学童クラブは、朝から子どもたちが来るので、遊ぶ時間はたくさんあります。部屋では、夏らしい工作として風鈴作りをしました。扱いやすい素材を使ってオリジナリティあふれる作品を作りました。子どもたち自身の発想から、パルーンアートを使っ

### 社会福祉法人陽光会◎近況

### 親子でいっしょにあそびましょう

●陽光保育園●  
\*「砂遊び」「リズム遊び」を主に計画しています(0歳のお子さんは室内で赤ちゃん体操など)。  
\*9時30分～11時  
\*親子で気軽にご参加ください。動きやすい服装で、タオルと着替えをご持参ください。  
\*詳しくは陽光保育園までお問い合わせください。☎3956-1068

|           |           |
|-----------|-----------|
| 今後の予定     | 11月26日(火) |
| 12月10日(火) | 1月21日(火)  |
| 2月25日(火)  | 3月4日(火)   |



夏休み、中庭にプールをだして、思いきり水遊び

### ご・あ・ん・な・い

| 行事名                              | 日時                       | 場所        |
|----------------------------------|--------------------------|-----------|
| 地域共育講座「子どもの学びとは」<br>講師：鈴木佐喜子さん   | 11月22日(金)<br>18:30～20:30 | 陽光保育園ホール  |
| 冬のバザー                            | 12月1日(日)<br>10:00～14:00  | 陽光保育園     |
| 新年のつどい<br>ただじゅんの獅子舞 他<br>新年を祝う芸能 | 1月9日(木) 9:30～            | 陽光保育園ホール  |
| 荒馬座ミニ公演                          | 2月21日(金) 10:00～          |           |
| 陽光保育園卒園式                         | 3月21日(祝) 9:30～           |           |
| 新年祝い会<br>ただじゅんの獅子舞 他             | 1月8日(水) 9:45～            |           |
| 共育講座「子どもの心のコーチング」<br>講師：菅原裕子先生   | 1月17日(金) 18:30～          | 北町保育園ホール  |
| 荒馬座ミニ公演                          | 2月12日(水) 10:00～          |           |
| 北町保育園卒園式                         | 3月18日(火) 9:30～           |           |
| 出前児童館                            | 11月20日(水)<br>14:30～16:30 | 板小小図書室    |
| ただじゅん登場                          | 12月27日(金) 午後<br>(時間未定)   | 板小小(場所未定) |
| 新年会                              | 1月17日(金) 18:30～          | 陽光保育園ホール  |

いつでも、どなたでも参加できます。どうぞご来場ください。



### 北町保育園



### ●たてわり保育

北町保育園では毎月1回、3・4・5歳児が「たてわり」(異年齢)で過ごしています。「たてわり」の生活では、5歳児が1番上の子、4歳児が2番目の子、3歳児が末っ子という組み合わせで、「きょうだい」と呼んでいます。「きょうだい、あつまって～」と5歳児が声をかけると、集まってくるのです。今年で3年目になる運動会(10月12日)の「たてわり競技」は「大きなバトン力を合わせて運ぼう!」と決め、9月から赤・青・緑チームに分かれてバトンの色塗りを始めました。

たてわりの「きょうだい」でバトンの色塗り。3～5歳児が仲よく

一時保育のお友だちも参加した運動会。早く競技にでたくてウズウズ

★ 楽しむで ★  
**陽光保育園父母の会**  
**周囲の協力を得て、**  
**元気に活動しています**

会長 矢野陽子

陽光保育園の父母の会では、一年を通して、歌の会やクリスマス会、学習会、ベルマーク活動、ニュースの発行、共同購入などさまざまな活動を行っています。

**親子で歌う「歌いまくりの会」**

まず歌の会というのは、「歌いまくりの会」と呼んでいて、その名の通り、たくさん曲を歌いまくりです。思いっきり歌えるように地域センターの音楽室を借りてクラスごとに歌ったり、全員で歌ったりします。

陽光保育園で普段歌っている歌は一般的な童謡とは違うので、親はわかりませんが親も歌えるように父母の会の幹事が事前に楽譜を作ります。保育士のみならずたくさん参加していただけるので、子どもたちも大喜びです。ピアノも弾いていただいで、かわいいミニ音楽会になります。

家に帰ると家事に追われて子どもとふれあう時間がなくても、「お母さんも歌えるよ」と一緒に歌うことで、子どもの笑顔がひとつ増えます。

**「クリスマス会」は親子で観劇**

クリスマス会では毎年、プロの劇団を呼びます。人形劇やパントマイムなど、生の劇を観る機会はとても貴重だということ、子どもたちの真剣な眼差しから感じます。そして恒例の、サンタさんからのプレゼントをもらったときの子どもたちのビツ



地域センターの音楽練習室をかりて「歌いまくりの会」。子どもも大人もおおいに歌う。

観劇のあと、サンタさんからプレゼントをもらってニコニコ笑顔。毎年楽しみにクリスマス会。

クリした顔や笑顔を見ると、大人もうれしくなります。

**学習会や交流会もさかん**

学習会は親のために開きます。こんな話が聞きたいということが実現できます。昨年はある本を読んで感銘を受けたお母さんからのおすすめで、その本の著者をお呼びしました。毎年とても勉強になり、子育てに悩んだときに役に立つ話をたくさん聞くことができます。

そして父母の会幹事は、クラスの交流会を企画します。年に2〜3回、多いクラスは5回以上行うところもあります。担任の先生（保育士）にももちろん参加していただけるので、普段なかなか会えない人との交流もできます。

**欠かせない縦と横のつながり**

以前、私は、父母の会の存在を疑問に思っていた時期がありました。「働いているのに……」「忙しいのに……」「保育園は預かってくれるだけでいいのに……」と思っていた。そのうち父母の会の行事や係の仕事を通して、先輩の父母からたくさんのお話を聞き、たくさん助けられました。

つらいときにつらいと言えよう。間が増えている。声に出して、聞いて



～陽光保育園～  
 (名前は仮名)

**1 歳児 — おやつ**

おやつするとき、リンゴを食べたくなくなったサトルくん、持っていたリンゴをテーブルに置くと、優しく手を振りながら「パイパーイ」。なんと可愛らしい姿でした。

**3 歳児 — カンパイ！**

とっても仲良しのユイちゃんとツトムくん、おやつとき、牛乳片手に、「きょうもおつかれさま。かんぱーい！」まるで晩酌をする夫婦のようです。

**3 歳児 — 「倍返し」**

ユウくん「これ貸して」アキラくん「いやだよ」ユウくん「やられたらやり返す。倍返しだ」意味がわかっているのかいないのか、「倍返し」が口ぐせの子どもたち。おもちゃを出していっぱい遊んだあとは、「倍返し」ならぬ「倍片づけ」を口ぐせに、お部屋をきれいにしています。



**真帆との登壇**

真帆は父親の私と朝は登壇します。もう丸5年です。幸いなことに、自宅から保育園までは歩いて数分。園に着いて支度をし、先生（保育士）をお願いして数分。「真帆ちゃんのお父さん、いってらっしゃい」。先生や居合わせた保護者に見送られて、さあ急いで出勤です。毎朝繰り返される、たった10分程度の忙しい時間のなかで、連帯感のようなものを感じ、「今日もがんばらなくちゃ」という気持ちになります。

保育園には、真帆が生後10カ月ごろから通い始めました。最初はたつこで、よちよち歩きときには倍以上かかれました。「道路は左右見ながら」「歩道側が真帆だよ」。年長になった今では、途中のマンションの敷地を通り抜けたり、花壇によじ登って飛び降りたり、ダートと走って見えなくなることも。

「車に気をつけて」「ねえ、真帆、速かったでしょ」とニツ。話しながら通うのはたとえ疲れている日でも癒され、空気に季節の移り変わりを感しながら、「寒いね」「暑いね」「今日は涼しいんじゃない」。娘と私の貴重な時間です。

母親の勤務時間が不規則なので、週に1回は夜のデートです。迎えにいき、夕食を食べ、お風呂に入り、寝ます。外食しちやったり、菓子を食べたり、布団の中で秘密のトーク。

「育児熱心なお父さんですね」と言われますが、わりと適当で、育児をがんばるという感覚はなく、日々成長していつか娘の今を見届けたい、一緒に過ごしたいという気持ちだけなのです。手を握りながらいとしさがあふれだしてしまふ真帆との登壇。大きくなったね、手はつないで歩けるけど、今度は一緒に自転車に乗ろう。次はバイクも。

ただただ娘の幸せを願うとき、朝の園の中で、みな「子どもを思う」気持ちに包まれることが、私を今日も支えてくれています。

(北町保育園5歳児クラス・真帆の父 金子豊)



◆こんなときにご利用ください  
 ・保護者の就労・求職・通院・職業訓練・通学・看護・介護など  
 ・また保護者の傷病・被災・事故・出産・冠婚葬祭などの緊急時  
 ・保護者の子育て不安・リフレックスなど  
 ・育児相談、健康診断等で、お子さんが保育園での保育が必要と認められたとき。

◆利用日・利用時間など  
 ・月曜日～金曜日の9時～17時（土・日・祝日・年末年始休）  
 ・1歳以上で、離乳の完了しているお子さんから。ただし、板橋区発行「すくすくカード」ご利用の方は生後10か月から。  
 ・一日1時間～8時間（ご希望の時間帯で利用できます）  
 ◆お申し込み・お問合せ  
 ・直接、陽光保育園へ。  
 (TEL)03-5611-1068、受付時間10時～17時  
 ・緊急時以外は、なるべく利用される10日前までに申し込んでください。  
 ・事前に面接をしていただき、利用日・利用時間を予約していただきます（親子でおいでください）  
 ・利用料その他、詳しくは陽光保育園までお問い合わせください。

**今も聞こえます ラジオの前のあの言葉**



山影和子

昭和20年8月15日の昼、箱根の山中の蝉が一齐に鳴き出したかと思うような蝉しぐれの中、私は隣家のT夫人の座敷でラジオの前に座っていた。私たちの他には、T家に民泊していた陸軍兵士が2人。飛行機、軍艦に使う油が国にはすでに不足。「松根油」を採取するための松の根株を掘るのが彼らの任務だった。

雑音混じりのラジオから初めて聴く天皇の声、それは理解が難しい言葉の羅列だった。負けた？ 負けた？ ようやく私がかかりかけたとき、「ヒー！」という悲鳴とともに夫人の体ががばと前に崩れた。そして夫人の口から途切れ途切れに聞き取れたのは、「おとうさん、日本は負けたのよ。貴方は犬死だったの？」という言葉。

夫人は東京からの疎開者。夫人の夫は3月10日未明の東京大空襲のとき、当時の深川州崎警察署長だった。炎の迫る署長室で、「誓と運命を共にするのが私の使命」と日本刀を片手に端座したままだったという。その署長室へ「署長殿のお共をさせてください」と駆けつけた若いお巡りさん十余名が、「君たちは外へ！」の言葉にも応じず、署長を囲んで車座になったままだったとか。

警視庁から遺骨を引き取って箱根に帰ってきたとき、涙一つ見せなかった夫人のこの日のあまりの変りように、13歳、高等女学校1年生の私は夫人にかけ言葉も知らず、ただ呆然と座っていた。2人の兵士は固く握った拳を膝に置いたまま一言も発しなかった。

戦後40年を経た頃、同じ警視庁管内の元警察官によるノンフィクションの著書が出版され、妻の疎開先に一度も姿を見せなかったその人が、職務に徹し部下に慕われた古武士のような人だった、と私は知った。生き残った部下たちが夫人と幼い遺児のために、夫人の特技を生かした生活の手段を考えて焼け跡に小さな家を建て、数カ月後には親子を東京へ迎えてくれたことが、すべてを語っている。

このような形で「殉職」を余儀なくさせられたファシズムの時代、こんなことがあったなど、若い人には想像もできないと思う。あの時代に二度と戻ってはならない。毎年8月15日が巡ってくると、私の耳に甦ってくるのは天皇の声ではなく、生涯でたった一度聞いた文字通り絹を裂くようなあの夫人の悲鳴である。

今は亡き夫人に私は誓う。「平和を守るために貴女の方まで力を尽くします」と。  
 (板橋生活と健康を守る会会員)